

変質おとし

DOUJIN  
Adult Only R18





スーパー令呪…

それは女性サーバントたちに  
邪な劣情を抱く  
魔術師にだけ与えられる  
奇跡の令呪

その効力はサーヴァントが  
他のマスターと契約下であっても  
行使することができる

凄いな令呪なのだ！









スーパー令呪…

それは女性サーバントたちに  
邪な劣情を抱く  
魔術師にだけ与えられる  
奇跡の令呪

その効力はサーヴァントが  
他のマスターと契約下であっても  
行使することができる

凄いな令呪なのだ！





ライダー！

……  
マスター……

びび

どうしたのですか？  
放してくれないと  
偵察に迎えないのですが……

む……！  
嫌だ……

独りぼっち  
怖い……！

びびびびびびびび



ふふふ…  
相変わらずマスターは  
甘えん坊ですね…

そんなことでは  
聖杯戦争は  
生き残れませんよ？

ううう…  
やだー！  
ライダーと  
一緒にいる…！

このようなひ弱な  
マスターの元に  
召喚されてしまうとは…

どうやら今回の  
聖杯戦争は勝ち残り  
そうにありませんね…

せめて  
この子だけでも…

仕方ないですね…

ん…！

では約束します

帰ってきたら  
今夜は一緒に  
寝てあげます

本当？！

ええ…  
約束します

では行ってまいります

安心してください

貴方のライダーは

必ず帰ってきます

ですから…

イイ子にして  
待っていてくださいいね？

マスター





パキッ!

パキッ!

パキッ!

パキッ!

パキッ!

パキッ!

最初は緊張で  
しこりのある感触  
だったが...

今はすっかり  
ちんぽを迎え入れて  
おるわ...

くふふ...  
大分小慣れてきたの...?

カキッ!!

パキッ!

パキッ!

は...





ホレホレ♪



いつまで抵抗するつもりかね？

ライダー？



ホレホレ♪

お前のプルチオも僕のマラに付きほぐされて歓喜しておるぞ？

初めて抱いた時に比べて反応が良いの？



誰も助けに来やせんのだから……



堕ちてしまうのも時間の問題だの？

勝手な……

諦めなさい





強情じやの〜？

ほれ、お前の好きな  
体位だぞ？

愉しめライダー

んっ！



ほれほれ

抵抗してみい  
抵抗してみい



ここまで女腰を  
じゅくじゅくに湿らせておいて…  
まだ負けていないと言うのか？

説得力が  
ないの〜？





僕の可愛いライダー♪

ほれいけ  
ほれいけ

あぁ

あぁ

くふふ...  
コレがほしいか?  
だが今日も  
お預けだ

残念だったな...?  
ライダー?

ふう...  
やはり若い女の躰は  
堪らんのだ♪

年甲斐もなく  
こんなに子種を  
吐き出して  
しもうたわ

不覚です



まさかこの男が  
このような摂理から  
逸脱した令呪を  
持っていたとは…

令呪をもって命ずる



服従せよライダー

令呪をもって命ずる

中イキせよライダー

中イキせよライダー

令呪をもって命ずる

マスターとの  
魔力供給を遮断せよ



中イキせよライダー

ひざまずけ



くふふ…  
よいぞ美しいライダー？

これでお前の軀は  
僕のものだ…

心の方もこれから  
たっぷりと躡て  
やるぞ？







何を考えておる？  
逃げ出す気か？

それとも僕を  
殺すつもりか？



無駄じゃぞ？  
お前は僕の令呪の  
支配下…

はーはー！  
何と香ばしい♪

もう迷がさぬ



ほーれ♪

ほーれ♪



若い女の  
体臭は甘美じゃの〜

良い香りだな  
らいだー？

程よく  
汗も香って…

男はそのまま  
屋敷内の牢獄に  
私を連れ込み…

抵抗できない私の  
躰を貪り始めた

牢獄には  
床布が敷かれて

これからこの醜い男に  
何をされるのかを  
物語っていました



ふひー！

お豆が勃起  
しておるぞ〜？



いい匂いだー♪





男はその日から  
連日...

私の臍を  
もてあそび続け  
ました

くふふ!  
腋の間から  
香ばしい香りを  
漂わせおって♪

ほれほれ  
ほれほれ♪

私の臍の奥にくすぶる  
快楽への欲求を  
ほじくり出す様に...

執拗に...

特性ローションの  
効果はどうかね?!

じっくりと...

入念に...



ほれれ  
魔力たっぷりの  
御馳走ザーメンだぞ?!

この精子...

魔力含有量は  
マスターの数十倍ですか

素直になれば  
今すぐにでも  
食わせてやるん  
だがの?!

大口を叩くほどの  
事は有るようですね...



くふふ!  
絶頂するたびに  
良い香りが噴き出して...

ふしだらな  
小娘じゃの...♪





くふふ!  
アイマスク越しに  
恨めしそうに  
ちんぽを睨み付けおっつ!

ほれ、出すぞ?  
出すぞライダー?

淫乱な  
雌猫め!

ちんぽはん  
ちんぽはん



魔力供給できなくて  
残念だったな?!

今日もお預けだ!

しかし男は  
徹底して私に魔力を  
与えようとは  
しませんでした



来る日も  
来る日も  
男はその醜い劣情を  
私の舐にぶつけてきました



くふふ...  
そうだアイ子  
だぞライダー?

恋人に奉仕するように  
丹念にな〜?!





お前が素直に  
僕のものにならぬ限り……

マスターとの  
魔力供給を  
絶たれた状態で

これは  
お預けだ……

いつまで  
意地を張って  
いられるのかの……?



どうした？  
僕の子種がつまった  
ゴム袋をじっと  
見つめおって……

そんなに  
僕の魔力ザーメンが  
気になるのか……?

さ、前座は  
終わりだ

今よりその小生意気な  
舐に僕のちんぼの形を  
刻み込んでくれる……

くふふ！  
生意気な雌猫め

覚悟せい！  
ライダー！



ほれ、何をぼーっと  
しておる……

さ、今日の分の  
薬だ  
飲め

この地獄も今日で  
数週間目……

このままでは……

可愛いの〜  
ライダー♪

ほーれ  
お待ちかねの  
ちんぼじゃぞ〜?

薬と魔力への欲求と  
快楽……

この男……  
本気で私を  
墮とすつもりですね……!

ほれ!  
キスじゃ

キスするぞ  
ライダー♪

舐めの方は  
とっくに快楽を  
受け入れておるのにな〜?

ほれ  
ほれ

ほれイけ

ほれイけ

ほほ♪  
意地っ張り  
じゃの〜?

かわゆいの〜♪

あぁっ

あぁっ

ぶちゅらっ





くふふ…  
盛大に絶頂しておって…



ちゅぽんぽん

魔力も尽きて  
もう実体を保つのも  
精一杯なのだろう？

もう…

限界の  
ようですね…



ごめんなさいマスター…  
貴方のライダーは  
ここで終わります

このような男の  
穢れた魔力で  
生きながらえる  
位なら…

私は…

見なさい  
ライダー

!





貴方という人は!

くっ……!

お前が自害した後で  
じっくりと苦しめて  
やるとするか……

くふふ!  
未熟なくせにお前のような  
美しいザーヴァントと  
契約した罰だ



お前のお気に入りの  
あの小僧を  
生かしておく  
理由もないの……?



くふふ……  
やはりこのまま  
消滅をまつつもり  
だったのだから?

しかし  
もしこのまま  
お前が僕の前から  
消えてなくなれば……



貴方は  
私が守ります

あ……

貴方は……

イイ子だ……



さあ……  
どうする??

僕のライダーよ





素直に  
快楽に溺れる  
ライダー

強がらんでも  
よいよい♪

誰が貴方の  
モノなど!

ふざけないで  
ください!

どうだ?  
待ちに待った  
生ちんぼは?

この数週間  
ずっとこれを  
待ちわびておったのだろう?



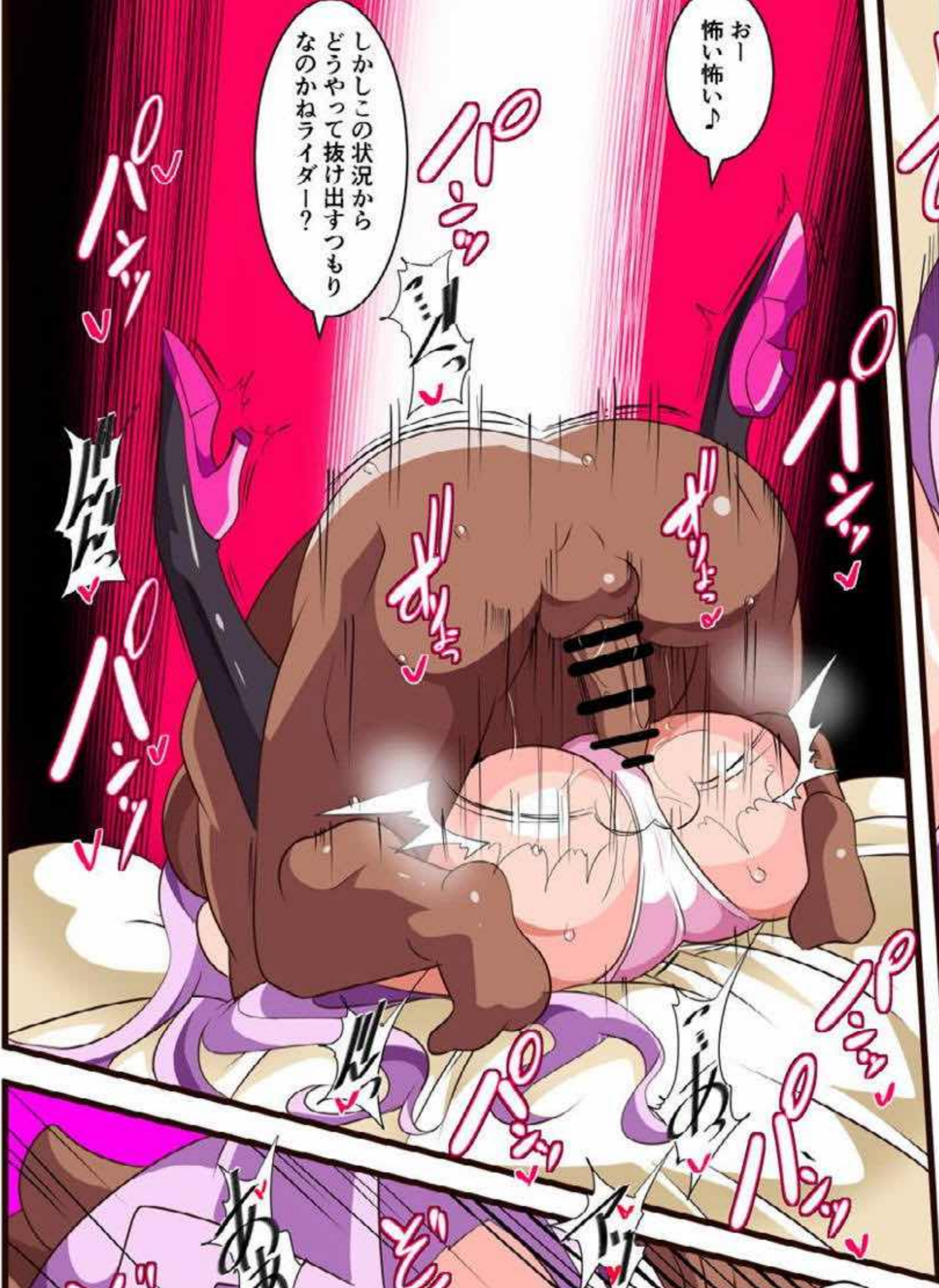
私を生かしておいたことを  
必ず後悔させます！



あなたを殺して  
マスターの元へ  
帰って見せます！

おー  
怖い怖い♪

しかしこの状況から  
どうやって抜け出すつもり  
なのかねライダー？



ほれ...

数週間かけて  
開発してやった  
ポルチオだ

これからは生ちんぽで  
たっぷりと可愛がって  
やるからな〜？

存分に味わえ











そうかそうか♪  
ならばお仕置きは  
続行じゃな〜♪?

ほれ!  
快楽に溺れた  
お前の顔をよく  
見せておくれ〜♪?

くふふ…  
今すぐにでも  
そのアイマスクを  
剥ぎ取ってやりたいが…  
今は我慢我慢…♪

見て…  
ハントイツ



ほほ!

まだそのような  
物言いができるとは  
さすがは英霊

隙あり…♪

んん

ちゅーちゅー  
ぐんぐんぐんぐん



ああ、マスター

れろん

れろん

ゴメンナサイ…  
もう…  
誤魔化せない

やっぱりこの男…

上手い…

改心できた  
ご褒美だ

僕の特濃の魔力を  
お前の子宮に  
注入してやるぞ！

オホ

やっと観念したか

ほれ、あんな  
ガキのことなど  
忘れて…

僕のモノで  
乱れ狂うが  
いいぞ？

僕のライダーよのぶは

たっぷりと  
味わうがいい  
ライダー！









ライダーー！

マスター…

マスター…

既に私への  
魔力供給が立たれて  
いることも分かって  
いないなんて…

なんて無力で  
愚かなマスター

わがまま言っでは  
いけませんよ？

私の…

可愛いマスター

また偵察に行くの？

この前やっと帰ってきた  
のに最近偵察に行っ  
てばかり…

今日は一緒に寝て  
欲しいよ

お願いだよ…

くふふ…！

たっぷりと  
濡らしてきおって…







さ...ライダー  
来なさい

はぐ...



どおれ...  
味見...



ついこの前まで僕を  
殺そうとしていた女が  
今ではこんないやらしい  
匂いをする体液を下着に  
染み込ませて毎晩毎晩  
通い妻のように♪



マスター...  
貴方は私が  
必ず守って見せます

僕の愛おしい  
ライダー？

さ、今日も  
魔力供給の儀式を  
始めようかの？

END







奥付

蛇墮とし

発行 WMアートワークス株式会社  
著者 ワラビモチー  
発行日 2018/09/06

印刷 Printnet

pixiv ワラビモチー  
Twitter @Warabimochi411

DLsite.com・DMMでも  
複数商品発売中

無断転載・複製・WEBへのアップロード  
ネットオークションへの出品は厳禁です  
18歳未満の購入・閲覧を禁じます。